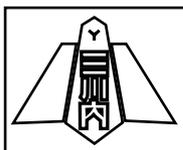


学校だより

あったか三川内



令和3年 10月12日
佐世保市立三川内小学校
校長 磯平 正敏

学校教育目標：「夢に向かい 自ら学び、考え、行動する 心豊かな子どもの育成」
郷土「三川内」に誇りをもち、たくましく未来を切り拓いていく、
心豊かで元気のある子どもを育成する。

【後期始業式】

2学期制最後の後期がスタートしました。コロナ禍のため、終業式と同様に放送で始業式を行いました。式の中で5名の子どもたちが、「後期に頑張ること」を元気よく発表しました。子どもたちの言葉を紹介します。発表した後は、全教室から大きなあったかな拍手がありました。

〈3年生3名〉※3年生は、原稿を見ずに、言葉を覚えて発表できました。

題名は「後期に頑張りたいこと」です。

(植木 翔磨さん)

●僕が後期に頑張りたいことは、係の仕事です。前期は黒板係で、朝、後ろの黒板の日付や時間割を変えたり、休み時間ごとに黒板を消したりすることがあまりできていませんでした。キャリアパスポートにも「係の仕事を頑張る」というめあてを書いているのに、このままでは絶対にだめだと思います。だから後期は、体育係になって、準備物の用意を素早く済ませて、1番大きな声を出して体操の号令をかけます。みんなに喜んでもらえるように、責任をもって仕事に取り組んで、後期の最後のめあての振り返りで、花丸が付くように一生懸命頑張ります。

(長谷川 陽さん)

●僕が後期に頑張りたいことは、忘れ物をゼロにすることです。前期は、家に帰ると好きなゲームで遊んだり好きなことをやったりしているうちに、明日の用意はすっかり頭の中から飛んでいて、毎日忘れ物が続いてしまっていました。担任の初村先生にたくさん注意をされて、さすがにこのままではだめだと思いました。だから、後期は家に帰ったら宿題をしてすぐに、明日の用意を済ませてから遊びます。夜と朝に2回、ランドセルの中の確認をして、忘れ物ゼロの日を増やしていきたいです。最後には、それが当たり前になるくらい、頑張りたいと思います。

(真弓 歩乃果さん)

●私が後期に頑張りたいことは、漢字です。前期の漢字テストで、ほとんど自分が満足する点数を取ることができませんでした。そのたびに「勉強しないと。」と、心の中で強く思っていました。なかなか勉強することができませんでした。だから、後期は、毎日家で30分苦手な漢字の練習をしようと思います。決めたからには必ず毎日やって、漢字テストで100点を取りたいです。目標を達成できるように一生懸命頑張ります。

〈6年生2名〉

(山崎 夢愛さん)

題名「やりきったと思える卒業式を目指して」

●やりきったと思える卒業式を迎えるために、長縄を頑張りたいと思います。長縄をすることによって団結力を高めたり、お互いを助け合うことを学んだりすることができると思います。団結力を高めることによって、卒業式の時に歌う歌を、自分たちが思っている以上に感情を込めて歌えたり、保護者の方や先生方に感謝の気持ちを歌で伝えたりすることができることによって、いい卒業式にできると思います。また、お互いを助け合うことによって、卒業式の時に言うセリフを友達と練習する時、間違っている所やセリフをどれくらいかのスピードで言うといいのかなどをお互いに教え合うことができます。そして、これまでの努力などを本番で発揮することで、やりきったと思える卒業式を迎えることができると思います。これまでの自分は、何も用事がなくても外が暑いからと勝手に思い込んで、長縄に行こうともしませんでした。ですが、みんながしているのを見て「やらないと、やりきったと思えるような卒業式を迎えることができない。」と、思い、その思いをばねにして、目標の400回を達成したいと思いながら頑張っています。

あと半年で、長縄を400回跳ぶためには、1分間で100回以上跳ぶことを当たり前に行えないと400回達成は難しいので、私は後ろの人が跳びやすいように心がけて跳ぶことを意識したいと思います。それで、みんなが400回跳べるようになるために頑張りたいと思います。そして、やりきったと思えるような卒業式を迎えたいと思います。

私は、半年後、下級生にいつでも優しく接することや誰にでも仲良くできるような6年生を目指して、これからたくさんの方を積極的に取り組むことを心がけたいです。そして、今頑張っている長縄も、みんなが400回達成できるように自分なりに努力をして、目標を達成していい思い出を残したいと思います。また、テストなどでいい点が取れるように今以上にもっともっと勉強を頑張って、中学校でも勉強を頑張ることができるようにしたいです。

(鴨川 楓さん)

題名「有言実行を目指して」

- 私が思う大切なことは、行ったことを実行する「有言実行」です。なぜなら、言うだけで実行しなかったら意味がないからです。勉強も生活習慣も中学生に見合う自分になるために、有言実行を目指して後期も頑張りたいと思います。これまで私は、物事をすぐにあきらめて、長続きしないことがよくありました。また、物事をする前からあきらめて、有言実行することができていなかったと思います。何か物事を長続きさせるためには、すぐにあきらめないことが大切だと分かりました。「有言実行」もあまり深く考えたことはなく、私には関係ないと思っていました。でも、三川内小学校の代表の6年生になり、「有言実行」の大切さを改めて感じました。前期は、クラスで決めた長縄の練習や落ち葉拾いなどを積極的にすることができました。でも、止まって挨拶をしたり下級生と関わったりすることなど、できていないところもあります。だから、後期は、「有言実行」を必ずできるようになりたいと思います。

まずは、学校での生活についてです。立ち止まって挨拶をすることを心がけ、廊下は歩くことや時間を守ったりすることなどの基本的なルールを守り、下級生のお手本となれるよう頑張ります。今月に控えている修学旅行では、周りの人たちに迷惑をかけないように時間を守ったり、丁寧に挨拶をしたりしようと思います。次は、委員会活動についてです。積極的に意見を出して、4・5年生に教えられるように頑張ります。最後は、学習についてです。学校で習う勉強などはもちろん、漢字検定など将来につながる学習にも挑戦していきます。他にも、今までやっていた長縄の練習や落ち葉拾いなども続けてやっていきたいと思っています。後期は、すぐにあきらめずに「有言実行」が当たり前にしていきたいです。

後期を終え、卒業するときには、中学生のように、丁寧に挨拶をしたり積極的に意見を発表したりできる自分でいたいです。また、学校や地域のために貢献できる自分でもいたいです。人のために行動し、有言実行できる自分になりたいと思います。

私は将来、人のために行動したり、地域に貢献したりできる自分になるために、後期から、「有言実行」を頑張りたいと思います。

※後期スタートに当たり、子どもたちの後期に向ける熱い思いや深い決意が、ビンビンと伝わってくる内容でした。後期も、自分らしく明るくのびのびと「輝く一人ひとり」であってほしいと願っています。

これからも、保護者の皆様のご理解とご協力のほど、よろしく申し上げます。